

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)株式会社大創産業神奈川RDC新築工事	階数	地上4F
建設地	神奈川県平塚市堤町23-1外2筆	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	16人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,267時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年8月 予定	評価の実施日	2022年7月28日
敷地面積	27,146㎡	作成者	株式会社Okamoto総合建築事務所
建築面積	14,157㎡	確認日	2022年7月28日
延床面積	24,066㎡	確認者	株式会社Okamoto総合建築事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 92 (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 46

③上記+②以外の: 46

④上記+: 46

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.5

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	工場+倉庫+事務所として必要最低限の機能を満たす設計としている。	その他 0
Q1 室内環境	作業スペース300lx、事務スペース700lxを基本設定としている。	Q3 室外環境(敷地内) 適切な緑化計画により必要緑化面積以上を確保した。
LR1 エネルギー	特に配慮を行っていない。	LR3 敷地外環境 自動車、自転車の駐車場の十分なスペースを確保した。
Q2 サービス性能	日用品、雑貨用品の物流センターとして配送サービスを充実している。	
LR2 資源・マテリアル	特に配慮を行っていない。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される